

## 令和5年度第2回 瑞穂町図書館協議会会議録

- 1 日 時 令和6年3月19日(火) 18:00～19:00
- 2 場 所 瑞穂町図書館2階 セミナールーム
- 3 出席者 会長 関谷 忠 副会長 高島 朝子  
委員 高橋 一広、笹井 鎮彦、田邊 真由美  
町事務局 町田図書館長、西村図書係長、長田図書係主任
- 4 欠席者 吉田 周平、吉良 明美、鳥居 智子
- 5 議 題 (1) 第6回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告  
(2) 図書館・地域図書室の運営状況について  
(3) 第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画について  
(4) 令和6年度事業計画について  
(5) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第、資料1～4、みずほの教育第44号、45号
- 8 会議内容

開会

会長挨拶

### 議題(1) 第6回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告について

(資料1-1、1-2、1-3)

関谷会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 令和5年9月1日から9月30日の期間で作品を募集しました。

応募作品数ですが小学生の部が**301**作品、中学生の部が**7**作品、高校生の部が**17**作品、一般の部が**3**作品で合計**328**作品の応募がありました。

一次審査で、小学生の部の作品を図書館職員5人で審査し、7月に開催した研修会の講師も務め、昨年も全国コンクールで審査員を務められた小畑信夫先生のアドバイスを頂き、上位**10**作品を選定しました。

なお、審査要項により中学生、高校生、一般の部については、応募作品数が20作品を下回ったため一次審査を実施していません。

二次審査は、①教育部長、②教育指導課長、③図書館長に加え、④図書館協議会から笹井委員に審査をお願いしました。一次審査を通過した、小学生・中学生・高校生・一般の部の合計**37**作品を審査し、各部門の入賞者が決定しました。

審査結果については、資料1-2をご覧ください。

表彰式は11月15日（水）16時から郷土資料館けやき館で行われました。  
また、上位入賞作品のうち、応募総数の1.5%である6作品を全国コンクールに推薦  
しました。内訳は各部門の上位作品から、小学生の部が2作品、中学生の部が1作品、  
高校生の部が2作品、一般の部が1作品となっています。  
推薦したすべての作品が入選し、奨励賞が1作品、佳作が5作品という結果になりました。

事務局 何点か補足説明を行います。  
小学生の応募学年にばらつきがありますが、これは何年生で取り組むかを学校側に委  
ねているためです。学校の授業で取り組んでいる学校もあれば宿題で取り組んでいる  
学校もあります。  
今回の結果の特徴として、瑞穂農芸高校の生徒以外の応募があったことです。第五商  
業高校の生徒は、町内の中学校に在学中にこの調べる学習コンクールに取り組んでい  
た方々です。このように上位校に進んでも、作品作りに取り組んでいます。読書活動  
は生涯取り組んでもらいたい活動ですから、このように継続して取り組んでくれる方  
が出たことも、調べる学習コンクールの成果ではないかと考えています。  
また、奨励賞に入賞している他の高校は、いわゆる進学校といわれる学校が多  
いですが、その中で入賞していることは素晴らしいことと感じています。

関谷会長 このことについて、質疑や意見がありましたらお願いします。

笹井委員 審査の感想を申し上げます。奨励賞に入賞した高校生の部の「おやきで町の  
産業振興に寄与できるのか」は素晴らしかった。難しい言葉や専門用語など  
使い、よく関心を持って調べられていると感じました。  
また全体を通しては、平均的なレベルが上がっていると感じています。ぜひ  
次の作品に繋げてほしい。

## 議題（2） 図書館・地域図書室の運営状況について

（資料2-1、2-2）

関谷会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 瑞穂町の図書館、地域図書室の来館者数と貸出等利用者数の令和5年度と令和4年度  
の比較になります。

まず来館者数です。表の太枠内をご覧ください。

瑞穂町図書館は前年同時期とほぼ同じ、長岡、武蔵野コミュニティセンター図書室では、前年より多くの方が来館されています。新型コロナウイルスが5月に5類になったことや、瑞穂町図書館のリニューアルで訪れた人が、近くの地域図書室も利用する、どこか1か所だけでなく、複数を利用するようになったのではないかと推測しています。実際、資料の多い図書館で借りて近くの地域図書室で返すなどの声も聞いています。

また、裏面の貸出等利用者数ですが、来館者数とほぼ同じ推移をしています。表の太枠内の合計を見ると、図書館以外は前年同時期より減っています。来館者数は増加傾向が見られることから、本を借りる以外の目的で図書館や地域図書室に来館する方が増えていると考えられます。

リニューアルのコンセプトである「本や人とゆるやかにつながり、自分の居場所と感じられる図書館」が、浸透しつつあるのではないかと考えています。

なお、殿ヶ谷図書室は殿ヶ谷会館の改修工事に伴い、9月28日から令和6年3月末まで臨時休室しています。

次に8月以降の実施事業についてご説明します。

小学校の見学受入が7回、中学校の職場体験受入が2回、新しい試みとして、長岡コミュニティセンター図書室で乳幼児を対象とした読み聞かせ「おはなし こぼんだ」を10月から開始しました。

主催事業としては10月に図書館講座「図書館で学ぶ樹木と樹木名プレート作り講座」を開催し、町内の小学生10人が樹木名プレートを制作し、図書館の植栽に設置してくれました。利用者からも好評を得ています。同じく10月に無料配布を実施、12月にクリスマス会を4会場で実施しました。同じく12月に図書館講座はじめての「ビーズアクセサリ」ワークショップを、2月には子供向けデジタル体験向上プロジェクト「デジタル創作体験」を実施しました。

図書館講座とデジタル創作体験はいずれの内容も初めての試みでしたが、普段図書館を利用していない方の参加もあり、図書館に行く、読書活動に興味を持つきっかけになったのではないかと考えています。

共催事業としては図書館ファンクラブ「MIDORI」との共催が3件、大瀧詠一さんを語る会との共催が1件、おはなし企画との共催が1件ありました。

他に、ボランティアセンターみずほの「夏の体験ボランティア」にエントリーし、延べ18人が参加しました。参加者には窓口業務や本の返却・整理のほか、本のPOPを作

成してもらい、町の福祉課と連携した展示（認知症月間）に活用しました。  
以上で説明を終わります。

関谷会長 このことについて、質疑や意見がありましたらお願いします。

(質疑なし)

### 議題（3） 第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画について

(資料3)

関谷会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 「第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画（令和2年3月策定）」の進捗状況について、対象団体に調査を実施し、31団体中、30団体から回答がありました。なお、調査の対象は学校や幼稚園・保育園、学童保育クラブ、ボランティア団体などとなっています。

Q1.「図書館で団体貸出を利用したことはありますか」という問いに対し、団体貸出の利用については回答があった30団体中21団体、70%から利用していると回答がありました。令和4年度の調査では29団体中19団体、65.5%が利用しているとの回答でしたので、回答していただいた団体が1団体増え、利用団体が2件増えました。

続きまして、Q2.「第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画を知っていましたか」という問いに対し、30団体中25団体、83.4%が知っているという回答でした。令和4年度の調査では29団体中22団体、75.9%が知っているという回答でしたので、この計画の認知が広がっていると考えられます。

現在の「第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画」は、令和2年度から令和6年度までの計画なので、新たな計画策定時には計画の周知や理解を浸透させる手法についても検討が必要であると考えます。

続きまして、Q3.「第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画において期待される取組に対する評価」については、「A 大変よくできた」「B よくできた」「C ふつう」を合わせて約86.6%となりました。

内訳としては、Aが47項目、Bが36項目、Cが21項目で、各団体が積極的に取り組みを行ったことが伺えます。

また、「D できなかった」「E 全然できなかった」は、令和4年度19項目だったのに

対し、令和5年度は16項目に減っており、取組を進めていただいていることが伺える結果となりました。

なお、Q3に対する具体的な取り組みは次のページのQ4に記載しています。2ページからの①～⑧が学校についての8つの求められる取組と、その回答です。

例えば①の「児童・生徒の成長・発達と興味に応じた蔵書の充実を図ります。」の具体的な取組として、選書基準や児童・生徒の興味が何に向いているのかを情報収集する手法があげられました。

5ページから8ページにかけては学校以外の団体の取組がまとまっていますので、後ほどご確認ください。

また、8ページのQ5には、それ以外の取り組みについての回答が記載されています。

9ページには、Q6として「読書以外での子どもとの関わり」についての回答が記載されています。

学校では、本の探し方、調べ方のサポートなど、「調べる学習コンクール」にも活用できるような取組などが報告されました。

11ページには「図書館への意見・要望」が記載されています。

今年度から始めた、学校への本の配達が高評価を得ていることがわかります。また、けやき館の小冊子等の配付希望については、図書館からけやき館に働きかけ、可能な限り実施したいと考えています。

以上で説明を終わります。

事務局

補足説明を行います。

この計画は、国の上位計画に基づいて作成しています。すべての市町村が作成している訳ではありません。瑞穂町はこの計画を作成し、それに基づいて読書活動を推進していることが文部科学大臣の表彰に繋がっています。

関谷会長

このことについて、質疑や意見がありましたらお願いします。

関谷会長

各小中学校に図書司書が配置されていることが素晴らしいことです。また、学校図書司書と図書館の連携が取れていると感じています。新聞を取らない家庭が多くなってきていますが、親世代でもそのようになってきている。

もっと読むという事を大切にしていってほしいですね。よく感じ、味わい、読むことが大切だと思います。

高島副会長 地域のコミュニティセンター図書室でも、新聞を取ることをやめてしまっていることは残念に思います。  
自分の家で取っている新聞と違う新聞を読みに来ている方もいらっしゃいます。

関谷会長 フランスはインターネットで本が買えなくなっているようです。これは書店を守るためです。本が並んでいるのを見るのは楽しい。手に取って本を見てから買うことも大切です。

#### 議題（４） 令和6年度事業計画について

（資料４）

関谷会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 曜日が赤色になっているところが休館日です。例年同様、毎週月曜日と毎月第3金曜日の館内整理日が定例的な休館日となります。

6月1日（土）に、絵本作家の方をお招きしたワークショップ形式の図書館講座を開催する予定です。このほか、秋以降にもう1回図書館講座を開催する予定です。

同じく6月に毎年実施している蔵書点検を行いますので、約1週間、図書館と地域図書室の休館を予定しています。

9月には例年同様、調べる学習コンクールの作品募集を開始する予定です。

10月に作品の審査を行いますので、図書館協議会から1名の方に審査をお願いし、その後11月20日（水）に表彰式を行う予定です。

秋以降に元狭山ふるさと思い出館の外壁等塗装工事を実施する予定です。工事期間は2か月を見込んでいますが、工事中も図書室の開室は継続します。

また、日時は未定ですが例年通り12月にはクリスマス会を実施予定です。日時が決定次第、広報みずほなどでお伝えする予定です。

そして、2月上旬には東京都多摩地域公立図書館大会が開催される予定です。図書館協議会委員の研修も兼ねていますので、日程や内容が決まりましたらご連絡差し上げます。

図書館協議会は年4回開催予定です。令和6年度は第四次子ども読書活動推進計画の策定がありますので、皆様からの忌憚ない意見をお伺いしたいと考えています。令和6年度第1回協議会で計画案をお示しできるように、進めてまいります。町内の小中学校にはアンケート等でご協力いただくこととなりますので、併せてご承知おきください。

最後に、祝日開館です。瑞穂町図書館は月曜を除く祝日を開館していますが、長岡と武蔵野コミュニティセンター図書室では、日曜日と祝日が重なる日に開館しています。令和5年度は2月11日の1日のみでしたが、令和6年度は5日あります。広報みずほ等で周知し、利用を呼びかけていきます。以上で説明を終わります。

事務局 祝日開館について補足説明を行います。  
コミュニティセンターは、祝日は基本休館となりますが、日曜日と祝日が重なる場合は例外的に開館しています。  
コミュニティセンター内にある図書室は、祝日が休室のほか、日曜日と祝日が重なる場合も休室となっていたため、同じ建物内でミスマッチが起きていました。そこを同様の運用にいたします。

関谷会長 このことについて、質疑や意見がありましたらお願いします。

関谷会長 今年2月の図書館大会では、認知症のサービスについての話を聞いてきました。新たな発見もありとてもよかった。来年、みなさんもぜひ参加してください。

## 議題（5）その他

関谷会長 議題（5）その他ですが、事務局から何かございますか。

事務局 ①視察研修と東京都多摩地域公立図書館大会について  
令和5年11月17日（金曜日）に栃木県的那須塩原市図書館「みるる」に視察研修に行きました。参加者は関谷会長、高島副会長、笹井委員、吉良委員、鳥居委員、田邊委員の6名です。  
国土交通省の駅前再生事業の補助を活用し、令和2年9月にオープンした図書館です。運営形態は直営ですが、窓口や本の選書を業務委託しています。蔵書数は開架閉架合わせて約20万冊です。おしゃべりや飲食が可能なエリアがあり、居場所としての機能も果たす点は瑞穂町図書館と通じるものがありました。  
令和6年2月には、東京都多摩地域公立図書館大会の第3分科会に参加しました。参加者は関谷会長、高島副会長、田邊委員の3名です。  
『認知症基本法と図書館における認知症バリアフリー』と題し、図書館における認知症の方に対するサービスについて講演を聞いてまいりました。

参加された委員の皆さま一人ずつ、感想などお聞かせ願えればと思います。

関谷会長 図書館大会では認知症についての講演を伺いました。メンタルの疾患は関わり方が難しいと感じました。

高島副会長 視察研修についてですが、見学した那須塩原市の図書館は規模が大きかった。行ってみたいくなるあたたかい図書館は、瑞穂町図書館くらいの規模が合っているのではないかと思います。  
武蔵野コミュニティセンター図書室は、現在、第四小学校の児童や瑞穂第二中学校の生徒も多く使っており、宿題等もやっています。

田邊委員 皆さんと一緒に研修のほか、児童分野の研修も参加しました。  
SNS時代の絵本についての話でしたが、身近な人との愛着を育てる、築くことが大切であり、そのためには絵本の読み聞かせはとても良いという事を学びました。

高島副会長 生の声はあたたかく、対面の朗読はとても良いと思います。

笹井委員 那須塩原市の図書館の視察について感じたことは、配架に工夫がされていたという点が印象的でした。隣が見えるすかしの配架がされており、みんなで考えられている居心地の良い図書館だと感じました。

事務局 ありがとうございました。  
今回の視察や図書館大会で得た気づきや良い点は、瑞穂町図書館の運営に活かしていきます。

事務局 引き続き、報告を行います。  
②GD賞ベスト100  
公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2023年度グッドデザイン賞」において、瑞穂町図書館がグッドデザイン・ベスト100を受賞しました。  
瑞穂町図書館をリニューアルするにあたり、図書館協議会や町民と対話を重ね、合意形成に至るまでプロセスが優れたデザインと評価されたものです。  
ハード面での耐震改修優秀建築賞、ソフト面での文部科学大臣表彰に続き、3つ目の受賞となりました。



③来館者10万人

11月5日に瑞穂町図書館のリニューアルオープン後の来館者が10万人を達成しました。10万人目の来館者となったのは、箱根ヶ崎地区にお住まいの山田梨乃さんです。

④みずほまるの貸出カード

12月から図書館の貸出カードに町の公式キャラクター「みずほまる」のデザインが追加されました。

関谷会長

委員の皆さまから何かございますか。

高橋委員に伺います。学校でのノート学習についてはどうですか？

高橋委員

学びのテーマパークの中でノートまとめを行っています。3年生以上での取り組みで、週一回木曜日に実施。図書室や図書館で本を借り、好きなことや興味のあることを調べ、見開き2ページでまとめるものです。自分の興味、関心から調べるようになってきています。

関谷会長

自分から調べ、能動的なまとめを行っているものは、その作品を読むとよくわかります。

閉 会

高島副会長